咳止め薬「Mucinex DM」のラベルを例に、「Drug Facts」を説明しましょう。

チェック項目 1位

「Active Ingredients（有効成分）、Purposes（目的、効能）」

１錠につき、咳止め成分のデクストロメトロファン60mgと、去痰成分グアイフェネシン1200mgが入っています。「extended-release bi-layer tablet」とあるのは、この錠剤が二層構造になったタイムリリース（有効成分を少しずつ放出）するタイプという意味です。

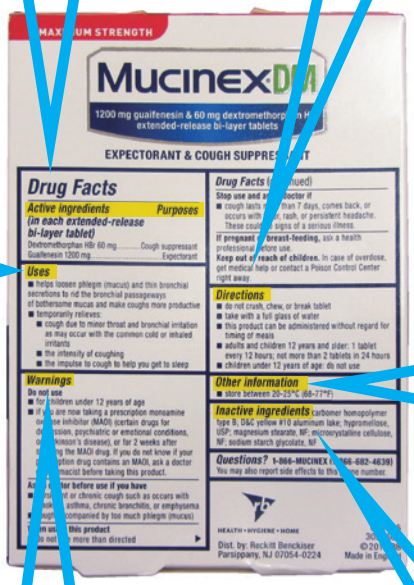
チェック項目 2位

「Directions（服用法、服用量）」

服用前に必ず読んでほしい項目です。錠剤を噛まない、勝手に錠剤を割らない、十分な量の水と一緒に服用する、食事と関係なく服用できるといった説明と、服用量（12歳以上は12時間おきに１錠、24時間以内に２錠以上服用しないことなど）が明記されています。

「Uses（用途）」

この薬がどんな働きをするかについての説明。「気管（bronchial passageways）内の痰や分泌物（phlegm/mucus）を除去し、咳と一緒に体外に出すのを助ける」とし、一時的な効果として「咳の体への緩和と悪化防止」「咳の衝撃を緩和し睡眠を助ける」と説明されています。



「Other Information（その他）」

保存温度「摂氏20～25度／華氏68～77度」と指定されています。薬は室温保存が鉄則ですが、夏にクーラーが利いていない部屋や、冬にヒーターで暑すぎる部屋に放置するのは良くありません。直射日光を避け、なるべく涼しい場所に保管してください。参考までに日本薬局法の定義は、常温が摂氏15～25度、室温が1～30度です。

チェック項目 3位

「Warnings（注意事項）」

まず「Do not use（禁忌）」として、12歳以下、MAOI服用中の人を挙げています。MAOIというのは、一部の精神疾患薬やパーキンソン病治療薬に含まれる成分の総称です。それらを服用中の人は、この薬を服用する前に、薬局の薬剤師か主治医に相談してください。「Ask a doctor」「When using this product」欄では、喫煙やぜんそく、慢性気管支炎、気腫による咳や、大量の痰が絡む咳、７日以上咳が続く場合は医師に相談するよう記されています。その他、容量制限を守ることや、妊婦の服用についての注意などです。

「Inactive Ingredients（非有効成分／賦形剤）」

これは、有効成分以外に、薬を作る上で使われた材料のことです。これらによって有効成分の効き目が変わることは、基本的にはありません。